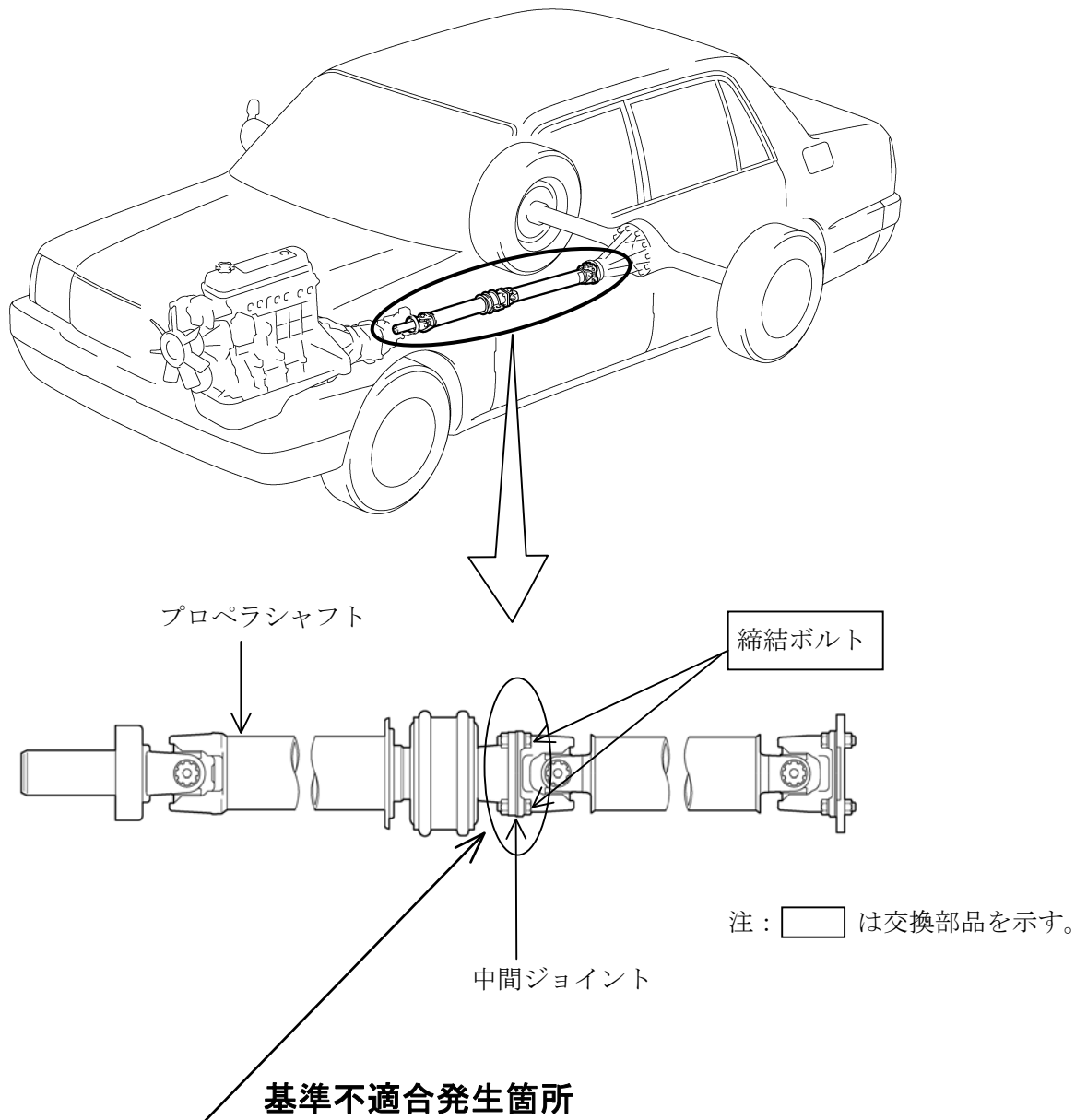


改善箇所説明図



プロペラシャフトの製造工程において、中間ジョイントのフランジ接合面に防錆油が付着しているものがあるため、クラッチの急な断続操作を繰り返すとフランジの締結ボルトがゆるむことがある。そのため、走行中に異音や振動が発生し、最悪の場合、中間ジョイントのフランジが外れ走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、フランジ接合面の防錆油を除去し、締結ボルトを新品と交換して規定トルクで締付ける。なお、フランジの締結にゆるみがある場合は、プロペラシャフトを新品と交換する。

識別：改善済み車両には車台番号打刻の末字の上部に黄色ペイントを塗布する。